

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	昭和43年以前		
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	02 健やかで生き生きしたまちづくり
	小項目	施策	06 健康づくり
事務事業名		04	献血事業
根拠法令・規程等	安全な血液製剤の安定供給の確保に関する法律	問	担当課(室) 保健課
合	職・氏名	健康係長・白麗由美子	先
電	話	64-1820	このシート作成に要した時間
			4.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	健康な16~69歳の市民(但し60歳以上は60~64歳までの間に1回でも献血をしたことがある者)
目的(何のために)	血液を必要とする人のために、善意(ボランティア)意識向上を図り、血液確保をする。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市民が献血の必要性を認識し、お互いの生命を大切なものとして考えられるようになり、安全な血液確保と血液製剤の安定供給ができる。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績		
細事業名	事業の説明	優先度
目的を達成するために実施した事業	献血事業	献血の必要性を啓発し、市民の理解を深めるとともに、岡山県赤十字血液センターの献血事業が円滑に実施されるよう支援する。
		<献血日数>26日
		<献血会場>48会場
		<協力事業所>16ヶ所
		<協力ボランティア団体>
		ロータリークラブ、備前ライオンズクラブ、吉永ライオンズクラブ、商工会青年部

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
決算額	事業費	千円	0	0	0
	必要人員	人	0.21人	0.10人	0.14人
	必要人員費	千円	579	697	798
財源	国	千円			
	県	千円			
	支	千円			
	出	千円			
受	益	千円			
	者	千円			
	負	千円			
担		千円			
比		%	579	697	798
率		%	-	-	-
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
結果指標	結果指標	事業	1,536	1,510	1,479
	対前年比	%	-	98.3%	97.9%
	活動コスト	円	579,000	697,000	798,000
	単位当たりコスト	円	377	462	540

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
献血可能人口からみた献血率(場所別)	目標値(A)	7	7	7	7
	実績値(B)	5.9	5.9	5.9	到達目標値
	達成率(B/A)	84.29%	84.29%	84.29%	7

備前市の住民基本台帳15~69歳の献血可能人口に対する献血者数(場所別)の割合(献血者数(場所別)/献血可能人口)×100 (H20 1536/26175、H21 1510/25774、H22 1479/25219)

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準	A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A~E>
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E>
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 <A~E>
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	B

がある事業の目的、効果的性を評価しその留意点を見極める

進行年度(H23年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	新規献血者確保の為、H23 度中に市内の企業に献血の必要性の説明と協力依頼し、H24年度の配車計画に組めるよう連絡・調整を行う。又、献血者数が減少している会場においては、別会場実施を検討していく。						

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準	A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
企業	評価区分 <A~E>	B	
	企業	企業の就業者数減少や休業日の増加という不利な条件下ではあるが、献血率は横ばいである。このことは商工会、ライオンズクラブ、ロータリークラブなどのボランティア団体の協力が得られていること功績が大きい。今後市民の献血に対する意識の、さらなる向上を目指す必要がある。	

平成24年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	協力企業の拡大を目指し、各種イベント等で人の集まる時に献血を実施することを検討していく。						